

エディーミル(粉碎機)

粉碎原理

高速回転するロータ(粉碎板)と固定ライナーの間で強い渦流が発生します。この作用と空気流路設計により発生する空気の渦で、投入した処理物同士を衝突させさらに細かく粉碎します。



特長

- 1 大容量処理が可能：ロータ直径 $\Phi 2000\text{mm}$ までラインナップが有ります。
- 2 粉碎・乾燥処理が可能：熱風発生装置を付属することにより粉碎と乾燥が同時に処理可能。
※冷風を、吹き込むことにより熱に弱い材料、油性の高い材料の粉碎が可能。
- 3 粉碎・混合処理が可能：2種類以上の材料を、各々投入し、粉碎混合の同時処理が可能。
- 4 粒度調整が簡単：風量と回転数の変更により、粉碎粒度の調整が可能。
※回転数変更は、インバータ制御によるため標準仕様外となります。

機種	電動機容量(kw)	重量(kg)	外形寸法(mm)
G-35	7.5~18.5	0.75	660W×1090L×985H
G-55	37~55	2	980W×1670L×1495H
G-90	110	3.8	1310W×2155L×1635H
G130	90~200	8.7	1840W×2680L×2180H

粉碎例

	そば殻	お米	PKS
原料			
粉碎後			